



平成29年12月5日改訂

~~平成27年6月2日改訂~~

~~平成26年2月2日~~

澁川学区まちづくり協議会

渋川学区まちづくり協議会まちづくり計画

1 目的

渋川学区の目指す将来像を定め、その将来像の実現のために解決しなければならない課題を浮き彫りにし、その課題の解決に向けた取組みを行います。

まちづくり協議会というさまざまな団体などにより構成する組織において、当学区の現状を確認し、地域の強い（良い）ところ、弱いところを再度見つけ直し、さらに住み良い地域としていくために地域住民の皆さんと将来像の実現に向けた考え方を共有し、取組みを進めることを目的とします。

2 計画の期間と事業予算および実績

当面5年後（平成30年度）の将来像を定め、平成26年度から平成27年度の2カ年で実施する事業を計画します。事業予算としては、草津市から交付された「地域ふるさとづくり交付金」を下記のとおり活用しました。

- ・平成26年度 112万円
 - ・平成27年度 187万円
- 計299万円

平成28年度からは、まちづくり計画事業を自主財源で継続実施しています。さらに平成29年度からは、「がんばる地域応援交付金」と「健康もまち草津モデル事業補助金」を活用し、新たな事業を展開しています。

	<がんばる>	<健康のまち>
・平成29年度	30万円	100万円（含：自主財源）
・平成30年度	150万円	100万円（ 〃 ）
（計）	180万円	200万円

3 渋川学区の現状

渋川学区は、市の玄関口となるJR草津駅があり、その周辺には大型小売店舗や高層マンション等が多数立地し、中心市街地の一角を形成する地域であり、平成29年9月末で人口9,652人、世帯数4,274世帯を有する、市内でも比較的人口が多い学区です。高齢化率は16.5%で、市平均の21.5%と比べ低いものの、年々増加傾向にあります。

渋川学区でも、ほかの地域と同様、一人暮らしの高齢者の増加や少子化、核家族化の進行、共働き世帯の増加などに伴い、コミュニティの大切さがクローズアップされるなか、地域のみなさんが英知を結集し、ボランティア精神を持ち、互いに連携・協力しながら、学区の個性が生かせるまちづくりを推進するため、平成24年12月に、15の町内会と23の各種団体等で構成する「渋川学区まちづくり協議会」を発足いたしました。

渋川市民センターを活動拠点として位置付け、平成25年度から、前年度までの事業・行事を引き継ぎ協議会としての活動が始まりました。

平成29年度から、渋川まちづくりセンターの指定管理者としての指定を受諾し、センターの管理運営を開始しました。

4 地域の課題

渋川学区の特徴として古くからの在所にお住まいの住民と新しく開発された住宅地に転入された住民やマンション住民が、いかに協力し合って“新しい渋川”をつくっていくかが一番の課題であり、「心身共に健康であれば、それで幸せ」を原点にそのための施策として、笑い声があふれるコミュニティの場の普及と充実を図る必要があります。

また、渋川学区をもっと知り、どこで何を行っているかを目に見えるようにし、地域コミュニティ活動・環境活動・教育文化活動などにおける新しい世代の担い手不足を解消する必要もあり、このことは急務となっています。

5 地域の将来像「キャッチフレーズ」

～笑顔・思いやり・ふれあいのまち渋川～

6 地域の基本方針（重点課題）

① 笑顔でふれあうまちをつくろう

～地域コミュニティの充実～

② 安全・安心で思いやりのあるまちをつくろう

～安全で安心して暮らせる環境整備～

③ 教育文化の伝承と創造があるまちをつくろう

～教育の充実と文化の伝承～

7 事業計画・予算案

① 笑顔でふれあうまちをつくろう～地域コミュニティの充実～

事業名	事業目的・内容	交付・補助金額(千円)					実施年度				
		H26	H27	H28	H29	H30	H26	H27	H28	H29	H30
渋川学区のシンボルマークの制定	あらゆる物品・書類などに明示し活用する。広く一般公募し選考する。	288						●→活用			
渋川学区のキャラクターの制定	あらゆる物品・書類や各種イベント開催時などに活用する。広く一般公募し選考する。 ○着ぐるみしぶはなちゃんを制作し、地域コミュニティの充実と活性化を図り、学区外へもPRする		952					●→活用	●→出動・PR		
渋川ふるさと風景の記憶絵の活用	大型デザイン看板を設置し、渋川の今昔についてPRする。		399					●→	●→掲示		
まちづくり提案箱の設置	まち協に対する意見・提案などを収集する。 3会館およびセンターに受箱を設置する。		103					●→活用			

◎がんばる地域応援事業

渋川っていいね！フォトコンテスト	学区内の風景を見直し、自分たちの街の良さを再発見する。風景写真の募集を行い、優秀作品を選考する。優秀作品は、センターなどに展示し、永く残す。				300	500				●→	
渋川学区の歌を制作	記憶絵等の内容をもとに歌を制作し、ふれあいまつりなど学区の主要行事に歌う。歌詞や曲を一般募集する。完成した曲を合唱団を結成し歌い続ける。 (H30 1,000 千円、H31 700 千円)					1,000					●→

◎健康のまち草津モデル事業

食生活の改善のための料理教室	野菜料理による体内改善や健康への意識向上を目的に、手軽に野菜を摂取できるレシピや未病につながるレシピを考えて料理体験を行う。				200	300				●→	
ノルディックウォーキングによる体力づくり	ウォーキングによる体力づくりや運動量UPで膝・腰への負担減を目的に、ノルディックウォーキングの講習を行って正しい歩き方を学び、渋川周辺の散策を実施する。				400	300				●→	
体成分測定器導入による健康管理	体力管理を住民自ら行い、成人病予防につなげることを目的に、体組成計（体重・体脂肪・筋肉量などの測定）の導入を図る。併せて健康ノート制作も				400					●→	●→活用

	行い配付する。											
指導者の養成	住民の健康維持管理の促進や生活指導を目的に、「リーダー」の養成を行う。					400						●→

② 安全・安心で思いやりのあるまちをつくろう～安全で安心して暮らせる環境整備～

事業名	事業目的・内容	交付・補助金額(千円)					実施年度					
		H26	H27	H28	H29	H30	H26	H27	H28	H29	H30	
清掃ボランティア活動の推進	環境美化活動の充実を図るため、現在活動を行っている人の輪を広げる。	186					●→	継続実施(随時募集) →				
渋川未来図の制作	渋川学区の2絵図(過去・現在)に未来図を加える。子どもたちに描いてもらう。	3	46					●→	活用 →			
防犯カメラの設置	各種犯罪の抑止効果と通学路等の安全確保のために設置する。 (毎年1台以上設置する)	341	329	(570)	(298)	(300)	●→	①	①	②	(①)	(①)

※ () は防犯 C 設置補助金

③ 教育文化の伝承と創造があるまちをつくろう～教育の充実と文化の伝承～

事業名	事業目的・内容	交付・補助金額(千円)					実施年度					
		H26	H27	H28	H29	H30	H26	H27	H28	H29	H30	
在住外国人との文化交流会の開催(多文化コミュニケーション)	和文化および多文化をテーマに交流会を行う。	36	27				●→					
渋川花踊り伝承のPR	後継者育成のため、ポスター・チラシ等の広報活動と地域・小学校等への協力体制を構築する。	165	116				●→					

◎がんばる地域応援事業

渋川・歴史街道ライトアップ事業	村おこしで行っている「総踊り」をグレードアップし、渋川通りを「提灯」で埋め尽くし、通りに神秘性を持たせる。 (H31 500 千円)											
-----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

合 計	1,122	1,870		1,300	2,500
-----	-------	-------	--	-------	-------

<ふるさとづくり交付金計(H26-H27) 2,992 千円> <がんばる地域応援交付金計(H29-H31) 3,000 千円> <健康のまち草津モデル事業補助金計(H29-H30) 2,000 千円>